

表計算ソフト操作キャプチャツール 取扱説明書

目次

1 . はじめに.....	1
2 . 動作確認環境.....	2
3 . 教材の構成.....	2
4 . ツールの起動 ~ 課題実施の流れ.....	3
5 . 課題データの編集	11

1．はじめに

パソコンでの各種アプリケーションの操作の習得に係る訓練は一般的にセミナー形式（集団訓練）で実施されることが多いですが、障害のある方の訓練では、それぞれに状況が異なることから、訓練生が個々にテキストによる学習を進め、必要に応じてテクノインストラクターが助言・解説する形式（個別訓練）で行うことが多くあります。しかしながら個別訓練の場合は、訓練生の進捗がまちまちであることから、「訓練生の技能習得の程度を把握するために作業遂行（アプリケーション操作）の様子を観察する」といったことが、担当する訓練生の数が増えれば増えるほどタイムリーに行えない、という問題が生じます。

本ツールは、表計算ソフト（Excel）の訓練における上記のような問題の対応策として作成しました。

テキストによる学習後の演習問題への取り組み（操作）状況を動画として記録することで、テクノインストラクターがリアルタイムに観察できなかった場合でも、後から動画を確認することで、対象訓練生の理解度・習熟度の把握ができます。

加えて、対象訓練生と一緒に動画を確認することで、操作の効率化のポイント等を視覚的に繰り返し説明できる、ということも可能です。

更に、同一の演習問題に繰り返し取り組み、それらの動画ファイルの記録時間（長さ）を時系列に参照することで、操作習熟の推移を対象訓練生自身とテクノインストラクターの双方で確認することもできます。

これらの運用は、テキストによる学習の場面のみならず、各種の検定対策の場面でも同様に行えると言えます。

また、遠隔訓練のための体制整備の必要性が叫ばれる昨今においては、無料のクラウドサービスと本ツールを併用し、例えば、その日に訓練生が自宅で行った訓練の成果物を動画として、テクノインストラクターあて提出する、といった活用も期待できます。

Windows の標準機能を流用したツールであり、その仕様から一部録画動作に制約もありますが、ご活用いただければ幸いです。

2．動作確認環境

- ・本ツールは、Windows10 バージョン 1809 以降の「ゲーム バー」という標準機能を使用します。ツールお試しになる前に、まずお使いの PC のバージョンをご確認ください（スタートボタン 設定 バージョン情報）。



- ・また、本ツールは Microsoft Excel 2016 で作成された xlsx 形式のファイルであることから、起動には Microsoft Excel 2010 以上がご使用の PC にインストールされている必要があります。

現時点までに、Windows10 上の Excel 2016(64bit、32bit 双方)および 2010 (32bit) 上での動作を確認しています。

- ・画面の解像度は 1920 × 1080 を想定しています。

3．教材の構成

- ・本ツールは以下のファイルおよびフォルダで構成されます。

「表計算ソフト操作キャプチャ」ファイル 本体となる xlsx 形式ファイル

「data」フォルダ 事前に提示される「課題ファイル」を保存するフォルダ

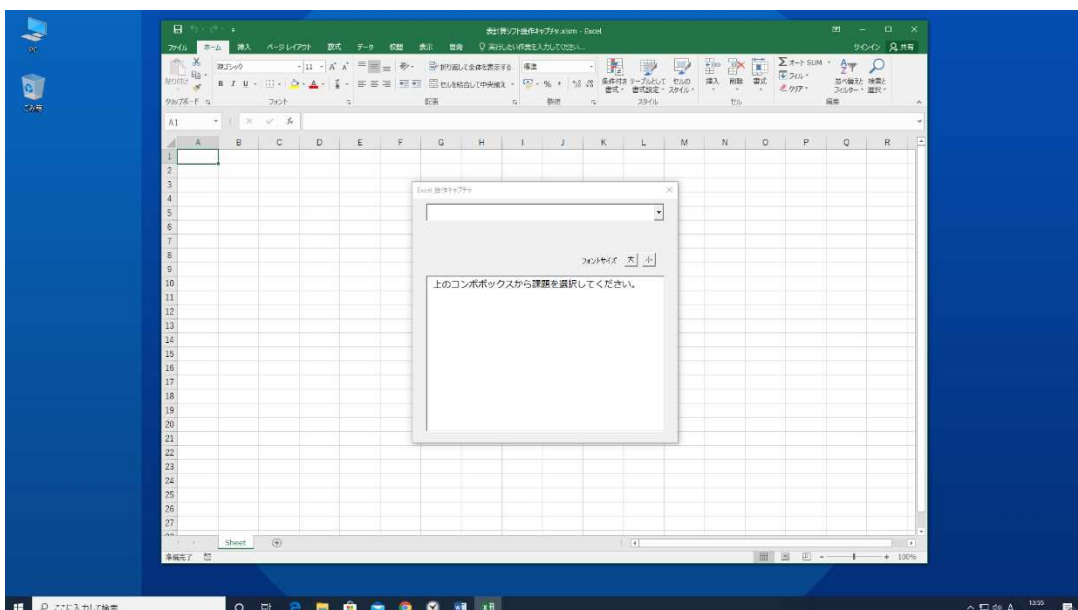
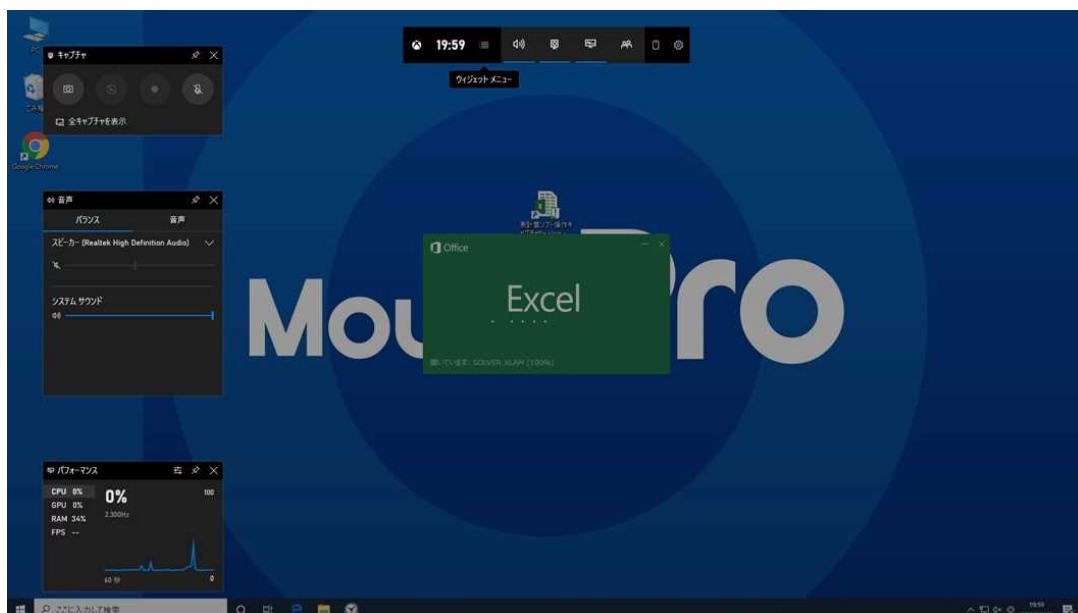
上記下層の「pct」フォルダ 作業結果の見本画像を保存するフォルダ

- ・上記 と は必ず同じ場所（パス上）に保存してください。

- ・「pct」フォルダに保存する画像ファイルは必ず JPG 形式としてください。
- ツールの初期状態においては、サンプルとなる課題を 2 つ記録してあります。そのため、上記 にはそれらサンプル課題に必要なデータが予め保存されていますのでご了承ください。

4 . ツールの起動～ 課題実施の流れ

- ・ ツール（「表計算ソフト操作キャプチャ」ファイル）を起動すると、Excel の起動に合わせて一瞬下記のような（「ゲーム バー」のコンソールが表示されている）状態になり、間もなく Excel ウィンドウおよび「Excel 操作キャプチャ」フォーム（以下、「メインフォーム」と言います。）が表示されます。



- ・もし、下記のように「セキュリティの警告」が表示された場合は、「コンテンツの有効化」ボタンをクリックしてください。

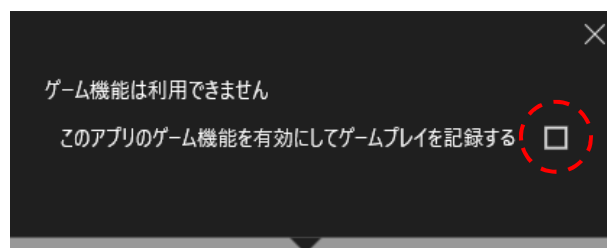


お使いのパソコンで「ゲーム バー」を使用したことがなく、本ツールで初めて起動される場合、右図のような初回限定のスプラッシュが表示されることがあります。

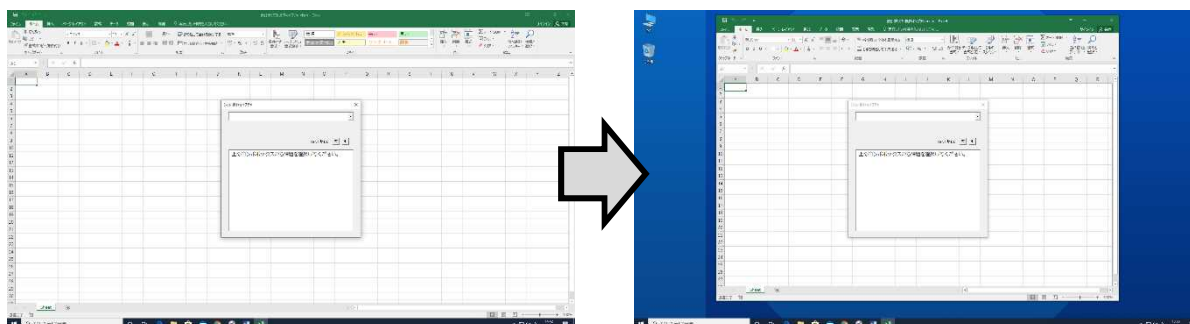
その場合は中央下の「了解」をクリックし、一度本ツールを終了し、再度開いてください。



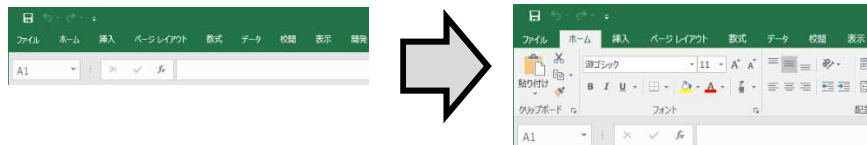
また、画面左上に右図のようなメッセージが表示された場合は、チェックボックスをオンにします。その後は本ツールを一度終了し、再度開いてください。



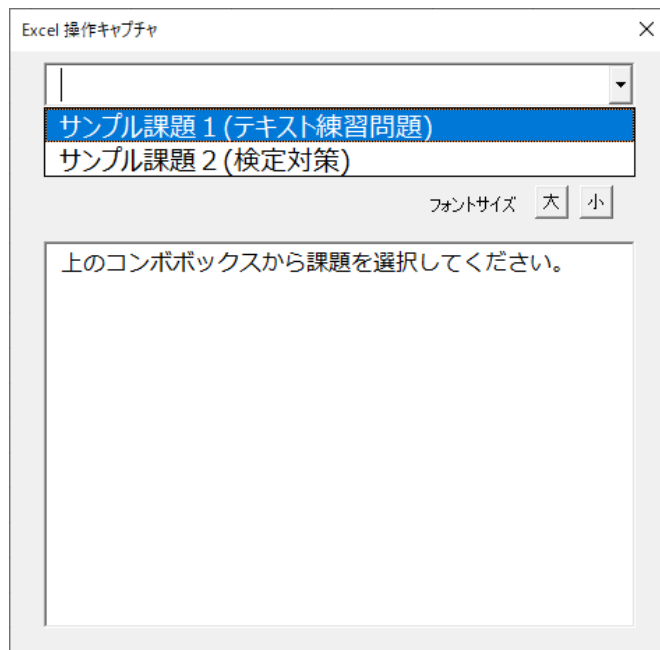
- ・Excel ウィンドウが表示されたのち、最大化されている場合は、元のサイズに戻しておいてください。



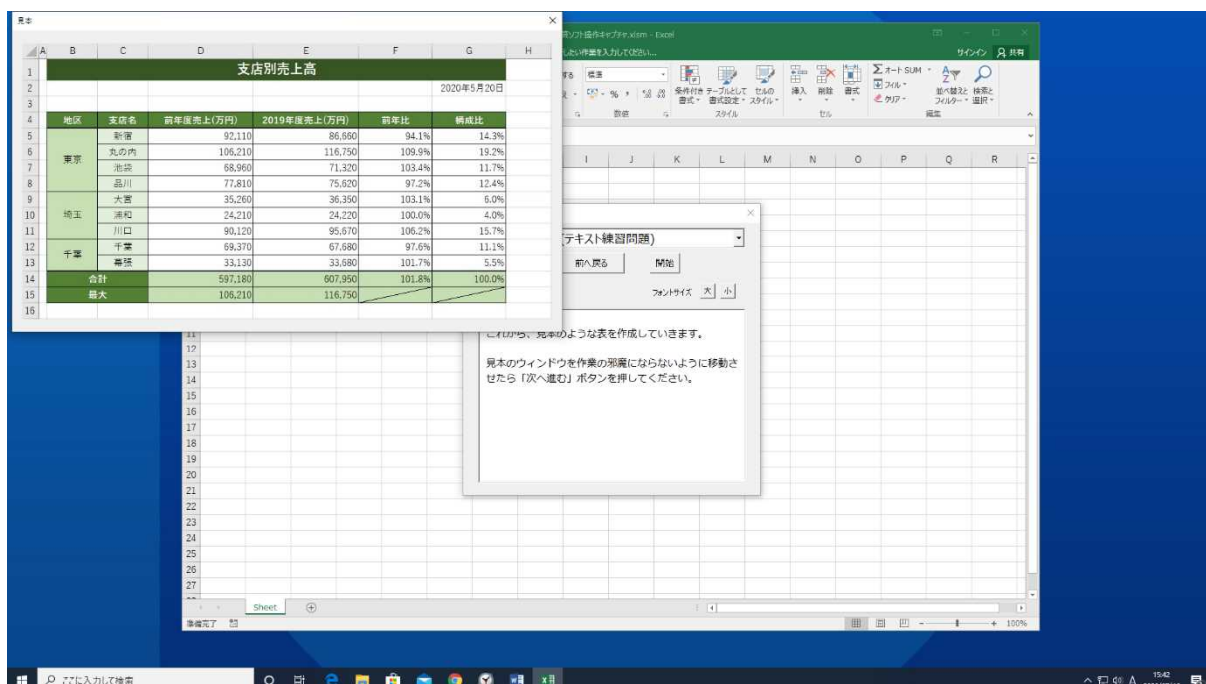
- ・ 加えて、Excel ウィンドウのリボンは折りたたまずに表示しておきます。

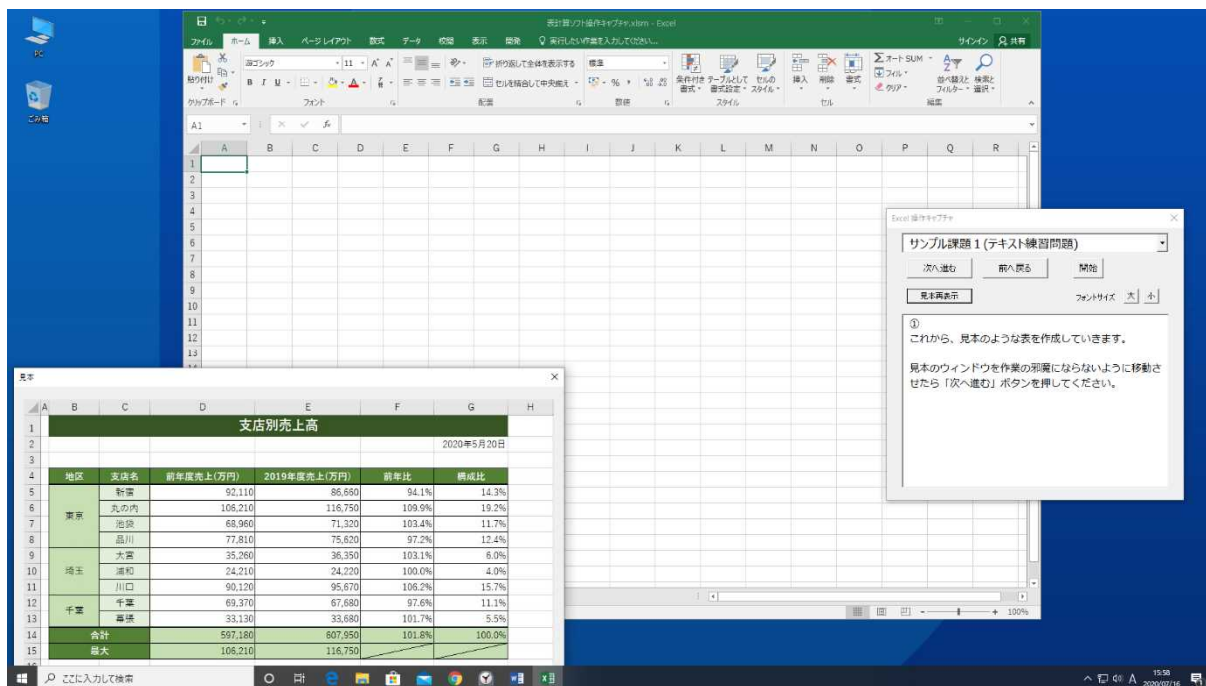


- ・ 画面上に表示されたメインフォームのコンボボックスを展開し、実施する課題をクリックして選択します（今回は「サンプル課題 1」をもとに説明します）。
- ・ なお、フォーム下部のテキストボックスに表示される文字の大きさは、「フォントサイズ 大/小」ボタンで調整することができます。



- ・ 課題が選択されると、以下のような状況になります。見本画像が表示されたフォーム（以下、「見本」と言います。）とメインフォームが重なるので、メインフォームの指示内容のとおり、作業しやすいように各フォームを移動します。

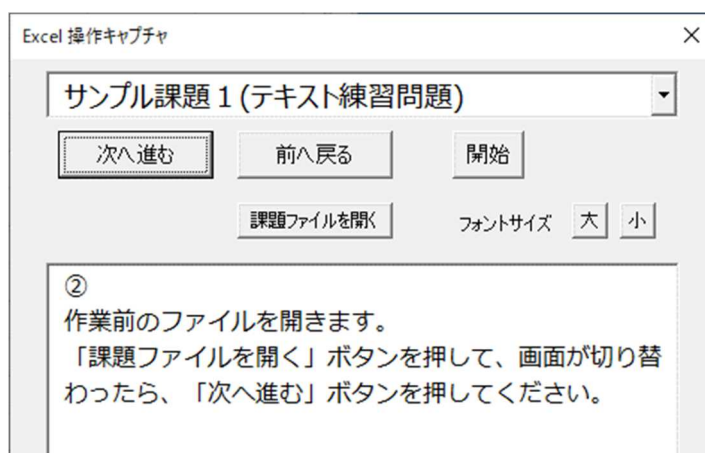
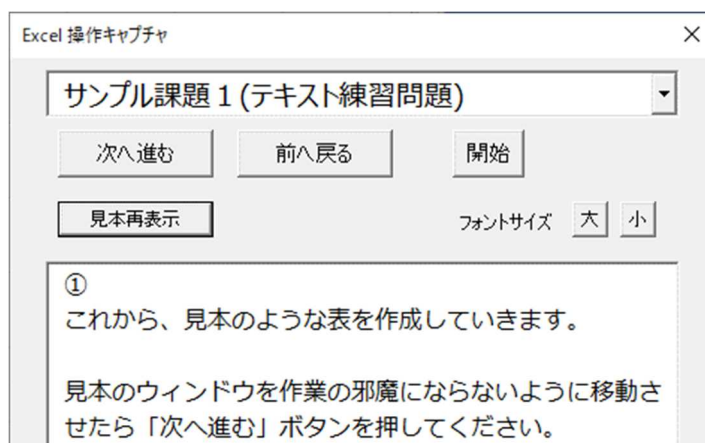




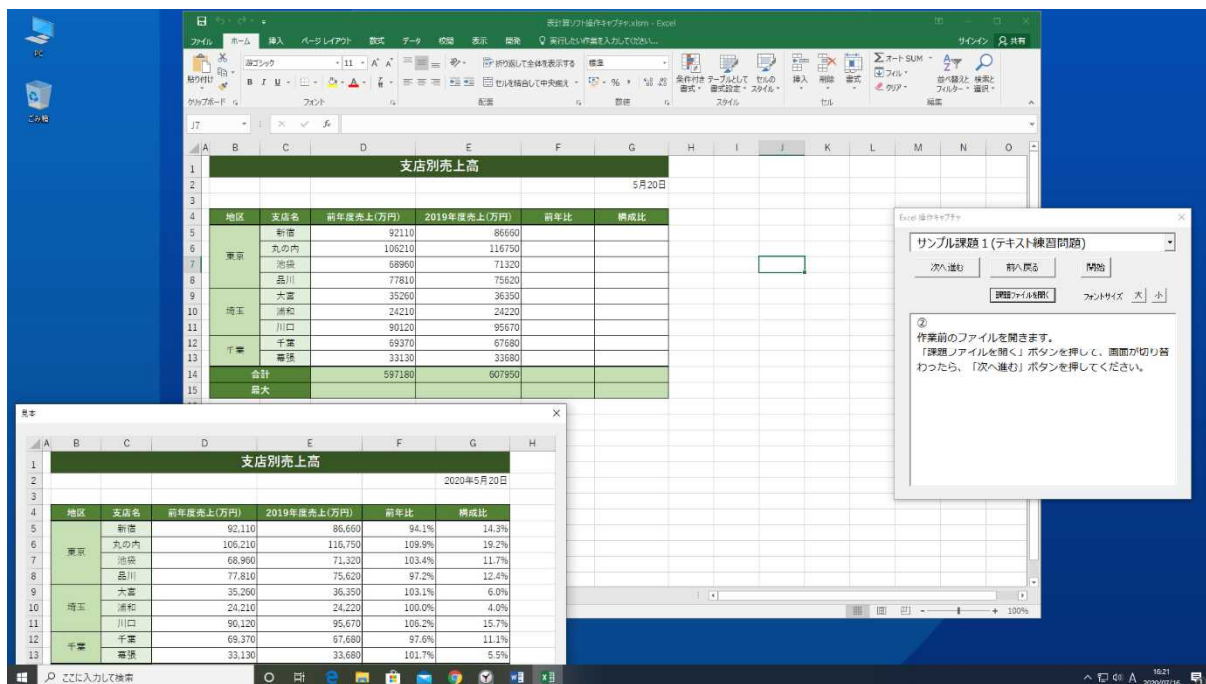
- ・もし、見本を閉じてしまった場合は、メインフォームの「見本再表示」ボタン（ ）をクリックすることで再表示できます。

- ・各ウィンドウの配置が整えられたら「次へ進む」ボタン（ ）をクリックします。

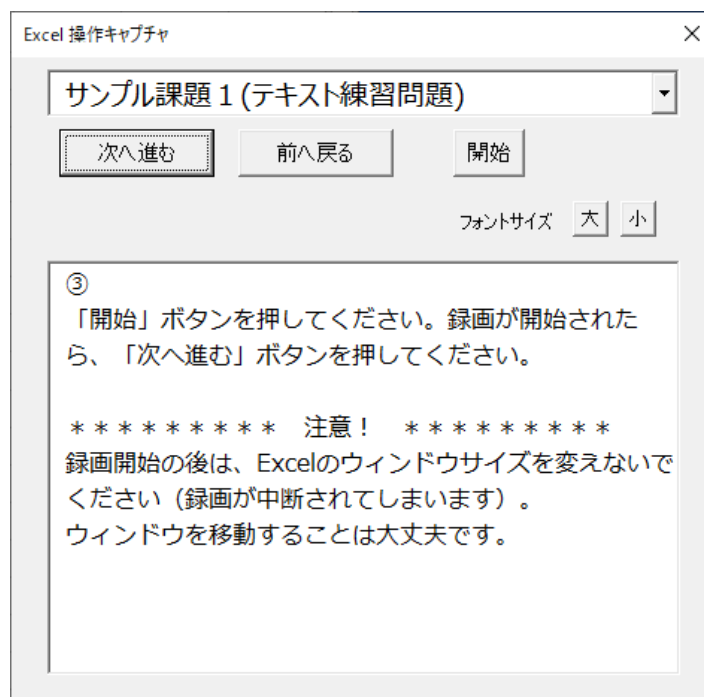
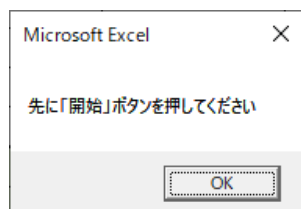
- ・メインフォームが次の指示に切り替わります。指示内容のとおり、作業前の課題ファイルを開くため、「課題ファイルを開く」ボタン（ ）をクリックします。



- ・ Excel ウィンドウに、課題ファイルの内容が表示されます。その後、「次へ進む」ボタンをクリックします。

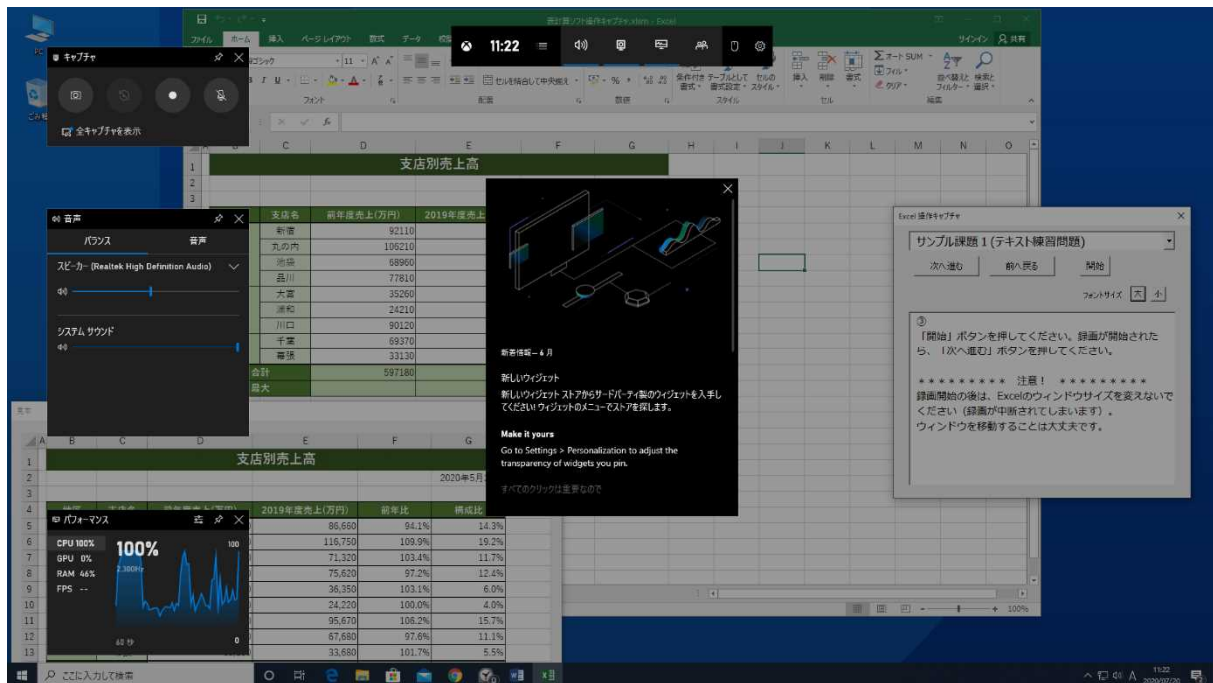


- ・ メインフォームが次の指示に切り替わります。これ以降の Excel ウィンドウ上での作業を録画するために「開始」ボタン（ ）をクリックします。
「開始」ボタンがクリックされなければ以下が表示され「次へ進む」ことができません。

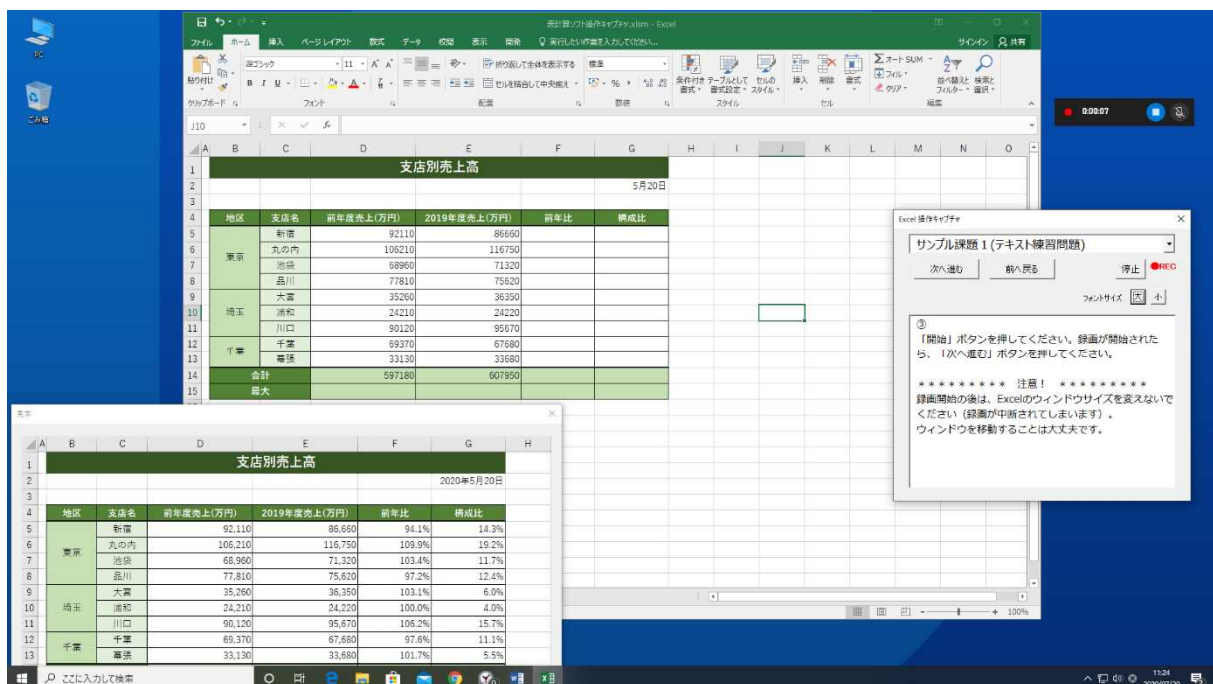


メインフォームにも記載のとおり、録画中、Excel ウィンドウを最大化するなど、Excel ウィンドウ自体のサイズが変更されると、「ゲーム バー」の仕様により、録画が強制的に停止してしまいますので、その旨、対象訓練生に注意喚起ください。

- ・「開始」ボタンがクリックされると、再び一瞬下記のような（「ゲーム バー」のコンソールが表示されている）状態になり、

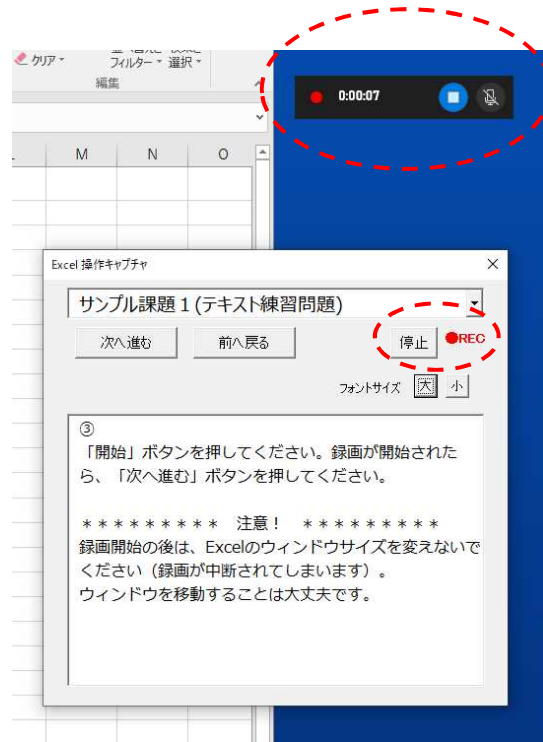


続いて、下記のような（Excel ウィンドウの動きが録画されている）状態に遷移します。

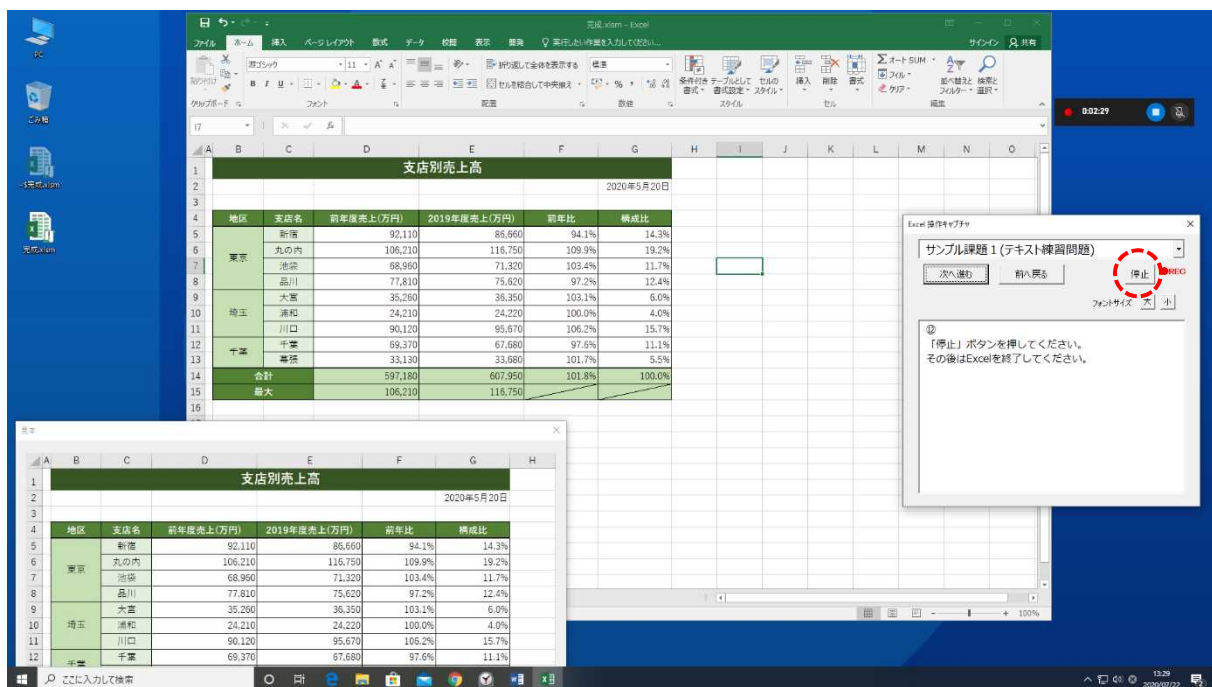


- ・録画中は右図のように、メインフォームには「REC」と「停止」ボタン、画面の右上には「ゲームバー」のカウントが表示されます。

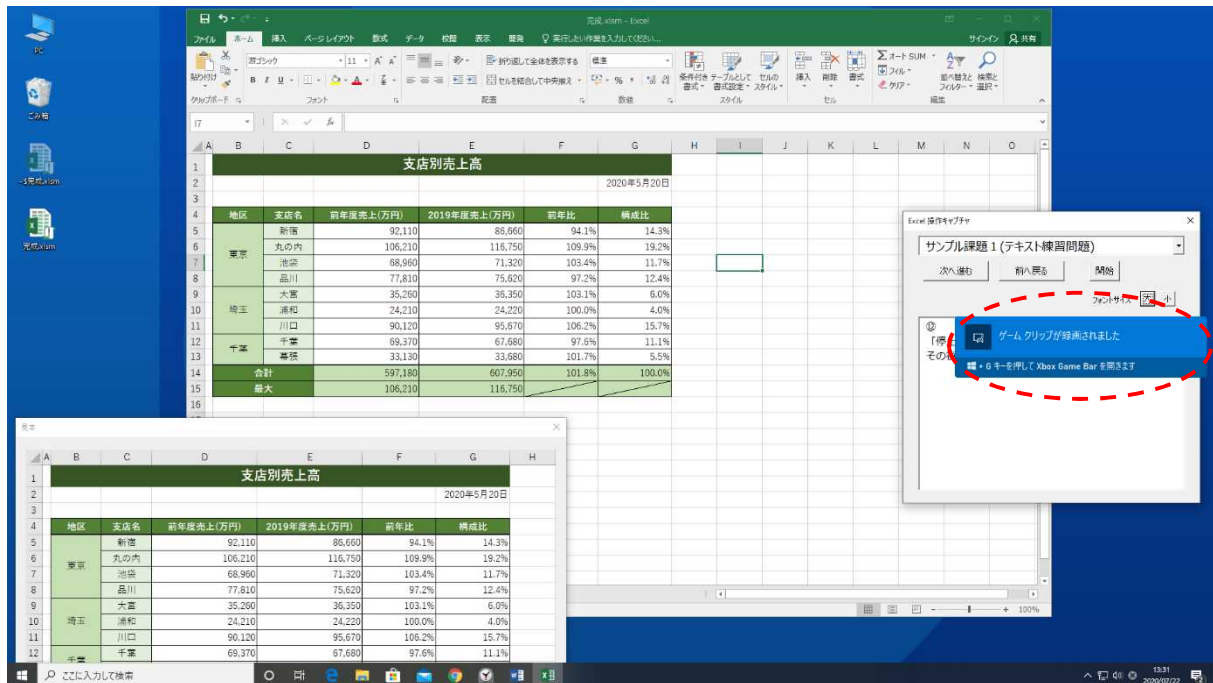
録画の停止（「停止」ボタンの押下）については、課題指示の最後に表示されます（後述）。



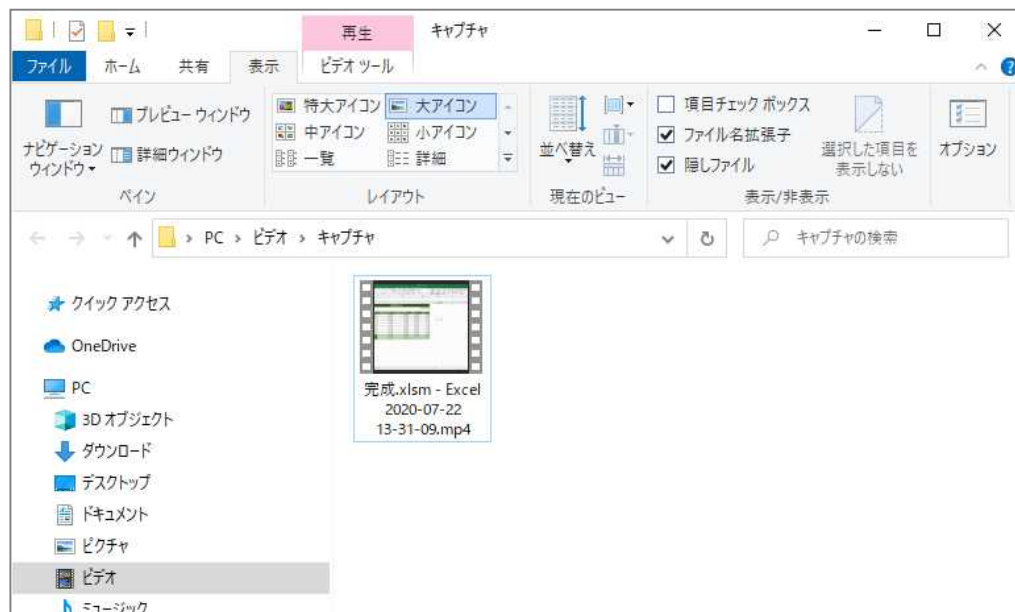
- ・以降は、メインフォームに表示される指示内容を順次処理していき、最後の指示（「停止」ボタン押下）が表示されたら、「停止」ボタンをクリックし、録画を停止します。



- ・「停止」ボタンがクリックされると、画面右に、動画ファイルが保存された旨のメッセージが一時的に表示されます。



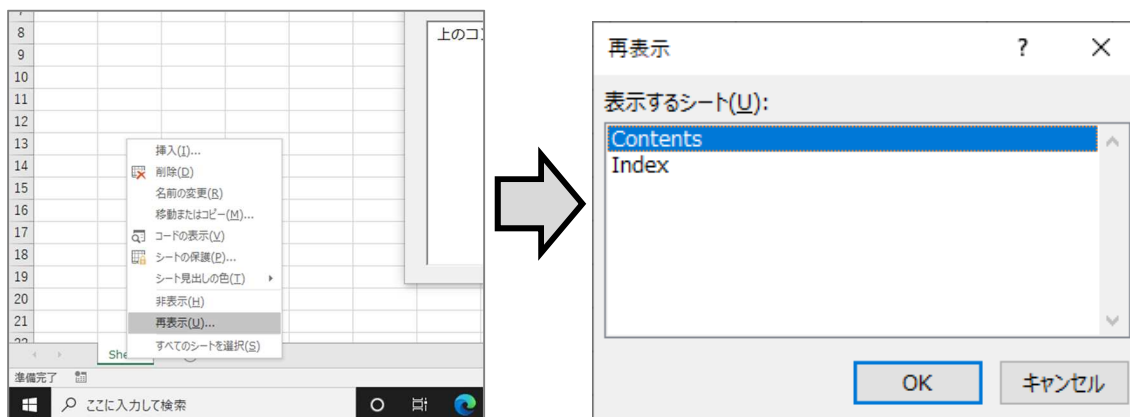
- ・録画された動画ファイルの保存先は、PCの「ビデオ」フォルダ中の「キャプチャ」フォルダになります（下図参照）。



- ・この「キャプチャ」フォルダは「ゲーム バー」の保存先として紐づけられているため、実際の運用では、デスクトップにこのフォルダへのショートカットを作っておくことが望ましいと思われます。

5. 課題データの編集

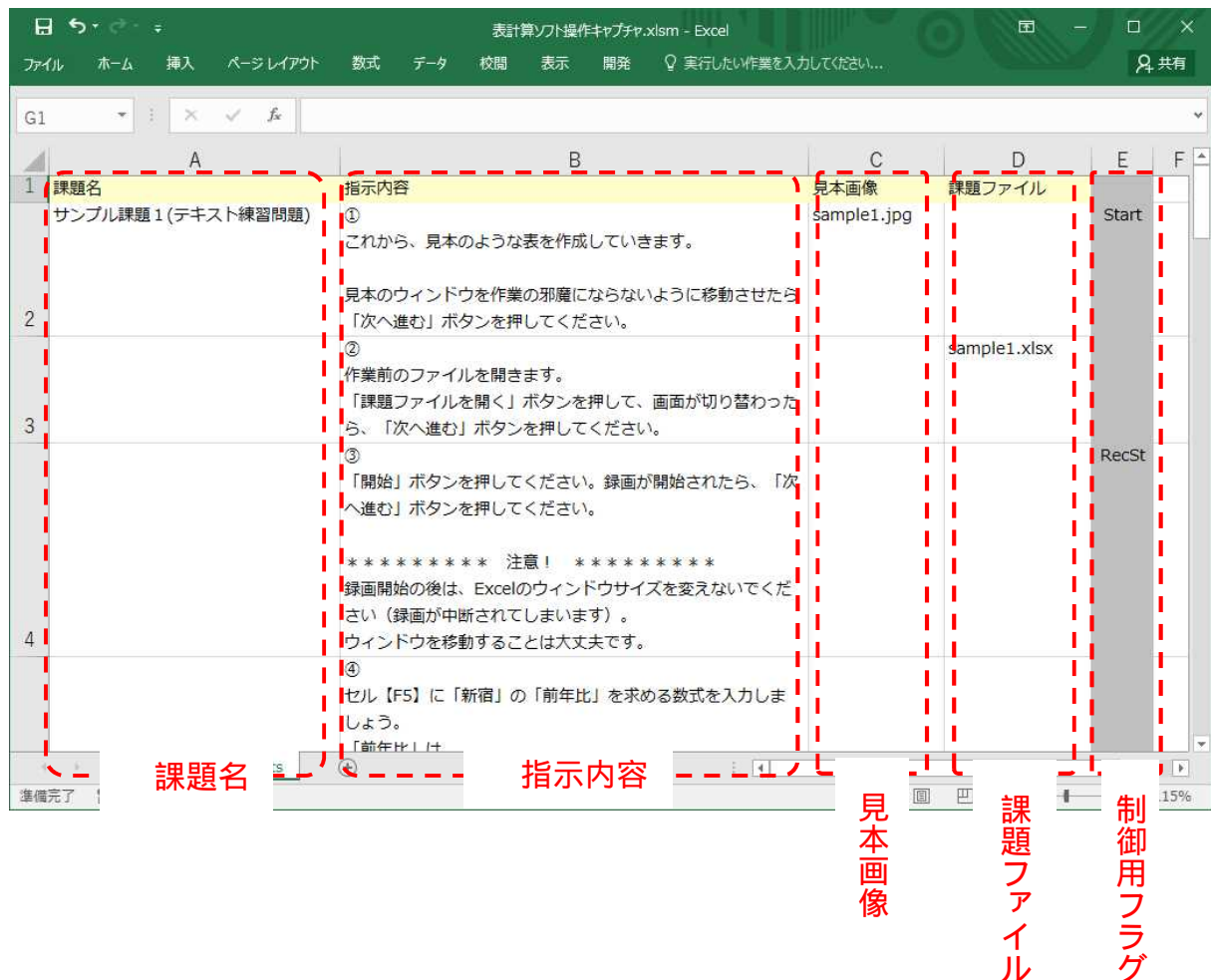
- ここからはメインフォームに表示される各課題データの編集について説明します。
- 課題データは、予め非表示になっている「Contents」シートに保存されています。
編集にはまず当該シートを表示します。



- 「Contents」シートの内容は下図のようになります。

	A	B	C	D	E	F
1	課題名	指示内容	見本画像	課題ファイル		
2	サンプル課題 1 (テキスト練習問題)	① これから、見本のような表を作成していきます。 見本のウィンドウを作業の邪魔にならないように移動させたら「次へ進む」ボタンを押してください。	sample1.jpg		Start	
3		② 作業前のファイルを開きます。 「課題ファイルを開く」ボタンを押して、画面が切り替わったら、「次へ進む」ボタンを押してください。		sample1.xlsx		
4		③ 「開始」ボタンを押してください。録画が開始されたら、「次へ進む」ボタンを押してください。 ***** 注意! ***** 録画開始の後は、Excelのウィンドウサイズを変えないでください（録画が中断されてしまいます）。 ウィンドウを移動することは大丈夫です。 ④ セル【F5】に「新宿」の「前年比」を求める数式を入力しましょう。 「前年比」は			RecSt	

- シートの記載の仕方で、メインフォーム上での各ボタンの表示がコントロールされるようになっています。以下、その内容を説明します。



課題名

メインフォームのコンボボックスに表示される課題名になります。当該課題の最初の「指示内容」の行に入力します。ツール更新（後述）後、課題名が入力されている行の制御フラグが「Start」になります。

指示内容

メインフォームのテキストボックスに表示される指示内容になります。既にサンプル課題の中に設けてある、「見本を参照する」や「作業前のファイルを開く」、「録画を開始する」、「録画を停止する」旨の指示は、そのまま流用いただくことが望ましいです。

特に録画開始の旨の指示内容については、ツール更新時、指示内容の文中に「録画を開始」との文言がある行を検出して、その行の制御フラグを「RecSt（「録画開始」ボタンの表示に関わる）」にするため、上記文言を変更しないようにご注意ください。

見本画像

指示内容が「見本を参照する」旨である際の、見本画像のファイル名が入ります。実際の画像ファイルは既述のとおり、本ツールと同じパス上にある「data」フォルダ内の「pct」フォルダに保存してください。

なお、見本画像ファイル名が入力されている行の指示内容がメインフォームに表示される際には、メインフォーム上に「見本再表示」ボタンが出現します。

課題ファイル

指示内容が「作業前のファイルを開く」旨である際の、課題ファイルのファイル名が入ります。実際の課題ファイルは既述のとおり、本ツールと同じパス上にある「data」フォルダに保存してください。

なお、課題ファイル名が入力されている行の指示内容がメインフォームに表示される際には、メインフォーム上に「課題ファイルを開く」ボタンが出現します。

制御フラグ

上記までに説明したとおり、メインフォームの表示をコントロールするためのフラグが表示されます。この部分は、ツールの起動時に自動的に更新されるため、ユーザーが編集する必要はありません。

- ・ ツール更新は、本ツールを再起動することで完了します。課題データの編集後は上書き保存したのち、一度本ツールを終了し再度開いてください。